

本県への本社機能（研究開発拠点）の誘致について (茨城県企業立地促進補助金に係る補助対象事業計画認定式)

本県では、若者が望む質の高い雇用を創出するため、成長産業の本社や本社機能、研究所の誘致を目的として、全国トップレベルの補助制度となる茨城県企業立地促進補助金を活用した誘致活動を展開しております。

今般、東京大学発の宇宙関連ベンチャー企業である株式会社Pale Blueの研究開発拠点のつくば市内への立地に係る補助対象事業計画を、2023年12月1日付けで本補助金の26件目の計画として認定し、本日認定式を実施いたしましたのでお知らせいたします。

同社は、近年需要が高まっている小型人工衛星向けの推進機の研究開発を行う企業であり、文部科学省の中小企業イノベーション創出推進事業に採択されているほか、持続可能な宇宙開発に取り組むベンチャー企業として国内外で高い評価を受けております。

同社の立地は、本県が目指している、宇宙ビジネス拠点の形成や若者が望む質の高い雇用の創出につながるものと考えております。

【企業概要：株式会社Pale Blue】

- 本社所在：千葉県柏市 ○資本金：1億円
- 従業員：50人（2023年12月時点）
- 代表者：代表取締役 浅川 純 氏
- 事業内容：小型人工衛星向け推進機の研究開発

【補助対象事業計画】

- 概要：国内初の「水」を燃料とした小型人工衛星用推進機の商用・実用化に向けた生産技術の研究開発
- 立地場所：上河原崎・中西特定土地区画整理事業施行地区内 A24街区（1,911 m²）
- 事業費見込：約16億円 ※土地取得費を含む
- 雇用見込数：27人
- 操業予定：2025年8月
- 補助見込額：約1.5億円

【株式会社Pale Blueの本社機能誘致に至る経緯】

- 株式会社Pale Blueは、2020年に東京大学発のベンチャー企業として創業以来、順調に事業を拡大する中、新たな研究開発拠点（本社機能）の候補地を探索。
- 宇宙分野の先端技術を有する同社を誘致することにより、若者が望む質の高い雇用の創出が期待できることから、つくばエクスプレス沿線用地の提案や補助制度の活用など、積極的な誘致活動を展開し、立地に結び付いた。

【関係者のコメント】

茨城県知事 大井川 和彦

今回、持続可能な宇宙開発に取り組むベンチャー企業として国内外から高い評価を受けている株式会社Pale Blueが、小型人工衛星用推進機の商用・実用化の研究開発拠点として茨城県を選んでいただき心より感謝申し上げます。

本県では、つくばの研究集積を活かし、国やJAXAとの連携の下で「いばらき宇宙ビジネス創造拠点プロジェクト」を立ち上げ、支援体制の構築などに取り組んでおります。

特に、宇宙ベンチャー企業の誘致に力を入れており、世界に誇る宇宙ビジネス拠点の形成を目指しております。

このような中、同社には、本県を拠点に世界の宇宙産業をリードする企業としてさらに発展されることを期待しております。

株式会社Pale Blue 代表取締役 浅川 純

小型衛星の利用拡大及び宇宙ゴミの低減のためには、宇宙空間で衛星を能動的に動かすための推進機、つまりはモビリティが必要不可欠です。

当社は、宇宙産業のコアとなるモビリティの創成のため、茨城県つくば市に水推進機の生産技術開発拠点を立ち上げます。「茨城県企業立地促進補助金」の採択と茨城県との連携により力強い支援を得ながら、柏の葉研究開発拠点と連携し、事業拡大に向けた体制を構築します。

新たな雇用と投資を通じて茨城県の経済発展にも貢献しつつ、国内外で更なる飛躍を目指します。

○認定式の様子





【本件に関するお問い合わせ先】

茨城県立地推進課 担 当：矢口 T E L：029-301-2036（直通）
小堀 F A X：029-301-2075

株式会社Pale Blue 担 当：奥原 E-mail：pr@pale-blue.co.jp